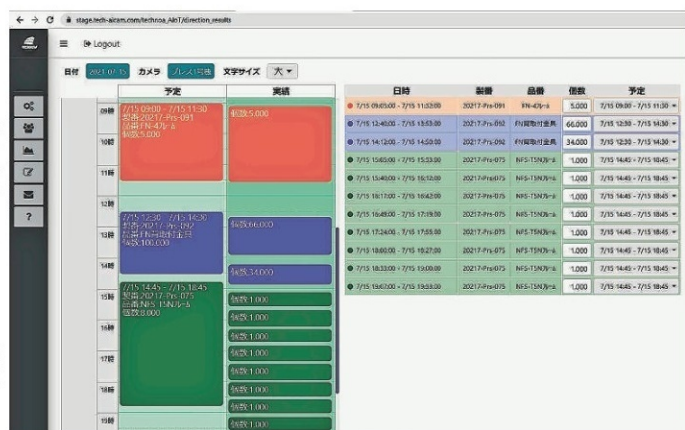


テクノアの工場可視化システム 生産効率 確認可能に

業務用ソフトウェア開発のテクノア(岐阜市本荘中ノ町、山崎耕治社長)は、人工知能(AI)の画像認識を利用し、工場設備の稼働状況を可視化する中小製造業向けシステム「A-Eye(エーアイ)カメラ」の

新バージョンを発売した。稼働状況に加えて、製品の生産効率を端末の画面で確認できるようになった。従来のシステムに作業計画の登録と、計画と実績を比較する機能を追加。データを比較、分析することで生産効率を把握でき、効率化を進める上での判断材料として活用できる。導入費用は33万円から。同社は「今後も機能追加や改善を進



作業計画の管理画面

め、中小製造業の『工場
見える化』に貢献したい
としている。